実施は決定していない。平成21年度には、まず小学校の調理場の目処をつけたい。その後、中学校給食懇話会を立ち上げていきたいと思っている。

②小学校と中学校の調理場が同時に供用開始ということはない。

③幾つかの候補地を検討してきたが本年度中に絞り込みたいと思っている。

（その他の質問事項）

・市民の足であるバス路線対策

・婦人がん検診率のアップを！

発売を開始した「さくら商品券」

大村市政に WAKUWAKUする 4つの政策を提案

園田議員

(1)天正少年夢まつりについて

『こども達に夢と感動を』伝えるために徹底したプロモーションを提案する。

①大村市出身アーティストに的を絞った広報チラシを自前で製作し配布活動を展開。

②教育委員会との連携にて、各出演者の出身校への告知強化。

③小中学校卒業式における祝辞内容への追記。

④ホームページ内のリンクバナーの見直しとフラッシュ動画の導入。

(2)入国管理センター跡地へ、ドッグランの整備を提案

現在、大村市にはペットとして5，386頭の犬が登録されている。人間も動物に、共に暮らしやすい街、共に遊べる場の提供を。これは、整備にコストをかけず運営できる事業である。また、行政と飼い主が連携しマナーを啓発する『ジェントルワン』活動の発信、犬と一緒に入れるドッグカフェの運営等を提案する。

商工観光部長　(1)①今回出演いただく方々は大村のおかげで今があると思っていただいている。地元に帰って歌いたい、恩返ししたいと思っていらっしゃる。そういったことから、大村市出身を前面に出したチラシを作成していきたい。

②出身校をピンポイントに広報していきたい。

副市長　③学校の祝辞については教育委員会と協議し、できるだけ学校側に伝わるような形をとっていきたい。

④ホームページのフラッシュ動画については今後検討していきたい。

(2)ご提案のドッグランについては、一つのご提案として勉強させていただきたいと思っている。やはり大村市においてはスポーツ施設が足りないということも事実であり、そういったことも含めて検討していかなければいけないと思っている。

（その他の質問事項）

・市立大村市民病院の経営方針の公表について進捗状況を確認

・地域通貨導入に向けた大村市の取り組みと現状について

議会活性化特別委員会

最終報告

議会の活性化を目的に設置され、その目的を達成するため、「議会報告会の開催」、「議会基本条例の制定」、「委員会のあり方」を活性化の柱に掲げ、順次検討を重ねてきました。

3月定例会では、「委員会のあり方」について報告を行いました。

委員会のあり方

「常任委員会の構成」と「一般会計の予算・決算の審査方法」を主要な課題と捉え、調査検討を行ってきました。

まず、常任委員会の構成について、1委員会の委員定数を現行の6人から8人とした上で、4委員会から3委員会に再編すべきとする意見と、現行を維持すべきとの意見が分かれたところであり、最終的には、多数意見であった現行維持を委員会の結論としました。

次に、一般会計の予算・決算の審査方法については、現行の各常任委員会への分割付託方式が、議会運営上最も効率的ではあるものの、議案を分割することの是非や予算・決算の重要性に鑑み、新たに委員会を設けて審査すべきとの結論を得るに至りました。

そのほか、検討の過程で各常任委員会の所管事項の見直し等も提起されました。

なお、委員会のあり方については、議会基本条例を具現化していくために今後も検討すべき課題であり、今回特別委員会が提起した内容を含め、今後も議会運営委員会を中心として、引き続き検討していくことを要望しております。

※今定例会の報告をもって議会活性化特別委員会は解散しました。

全国的な常任委員会の数（H19年末現在）

人　口	2委員会	3委員会	4委員会	5委員会
5万～10万（275市）	6市 2.2%	143市 52.0%	125市 45.5%	1市 0.4%
10万～20万（158市）	1市 0.6%	28市 17.7%	127市 80.4%	1市 0.6%